

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる



プレスリリース 令和4年6月2日(木)



島根県農林水産部農業経営課

担当者名 坂野 航

TEL 0852-22-6018

Email kigyosannyu@pref.shimane.lg.jp

自動抑草アイガモロボットの設置(放鳥)で有機米の産地づくりスタート！

～浜田市弥栄町で「アイガモロボット放鳥式」を行います～

浜田市と島根県、井関農機株式会社は令和4年2月1日に「持続可能な発展のための有機米の産地づくりに関する連携協定」を締結しました。

この連携協定により、島根県の有機米生産技術である「トロトロ層」と、井関農機株式会社の「アイガモロボット」「水位センサー」「水位ゲート」等のICT技術を組み合わせて有機米生産の最大課題である除草労力の低減を図る実証栽培を行い、有機米の産地づくりをスタートします。

将来的には、浜田市で20ha以上の有機米生産を目指します。

1 放鳥式の概要

有機米の産地づくりに必要な初期除草に効果が期待される、自動抑草ロボット「アイガモロボット」の設置(放鳥)を行います。

※アイガモロボット：田んぼを自立航行してスクリュウで水中を攪拌、泥を巻き上げることで光を遮り、水面下にある雑草の生長抑制を行う。

2 放鳥式

日時：令和4年6月6日(月) 14:00～15:20

会場：浜田市弥栄町稲代32-2 農事組合法人いなしろ実証栽培圃場

出席者：井関農機株式会社	代表取締役社長執行役員	富安 司郎
株式会社サセキ中四国	代表取締役社長	中谷 清
浜田市	市長	久保田 章市
島根県西部農林水産振興センター	所長	錦織 薫

内容：①令和4年産実証米田植え
②富安社長挨拶
③アイガモロボット放鳥
④久保田市長、錦織所長挨拶
⑤生産者による産地づくり宣言
⑥全体記念撮影

3 実証栽培の概要(浜田市)

生産者数、栽培面積：5経営体、約1.3ha

アイガモロボット導入数：10台(田植え後3週間まで稼働、雑草の繁茂を抑制)

水位センサー導入数：10台

水位ゲート導入数：8台

4 その他(報道関係者様へ)

当日は13:20より質疑応答を行います。希望されるかたは12:30に弥栄会館(浜田市弥栄町長安本郷544-1)へお越しください。

放鳥式会場へはバスで送迎します。13:40に弥栄会館へお集まりください。

※雨天時は弥栄会館にて決行(晴雨会場判断は当日午前)

問い合わせ先：浜田市農林業支援センター
0855-22-3500

島根創生計画	I 活力ある産業をつくる 1 魅力ある農林水産業づくり (1) 農業の振興(P.17)
--------	---

【県 HP】

(島根創生を進めるための新規・拡充施策(令和4年度版))

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/shinkikakujuuR4.pdf>



(島根創生計画)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku.illustrated.pdf>

